

## 令和6年度奈良県公立高等学校入学者特色選抜学力検査問題 出題概要【国語】

### 1 出題の特徴

認知科学者の今井むつみと言語学者の秋田喜美が、オノマトペを題材に様々な例を挙げながら、言語の特徴について述べた説明的文章を素材とした。古典については、親しみやすく、かつ自ら考えることができるような古典を素材とする観点から、平易な文体で書かれた、江戸時代の俳論『独ごと』を素材とした。

これらの素材を基に、国語の基礎的な事項が身に付いているかをみるとともに、内容の正確な理解ができるかをみた。

さらに、言葉による見方・考え方を働かせ、人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養うことをうたった学習指導要領「国語」の趣旨を踏まえ、言葉を題材に、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように内容や構成を工夫することができるかをみた。

### 2 各問題の概要

問題一 オノマトペを題材に書かれた、言語についての説明的文章を素材として、漢字の読み書きの力や、文の構成、内容の理解、楷書による書写などの基礎的・基本的な事項が身に付いているかをみた。

問題二 江戸時代の俳論を素材として、古典を読むための基礎的な力が身に付いているか、また、古典に親しむ態度が定着しているかをみた。（三）では、古文に表れたものの見方や考え方をとらえることができるかをみた。

問題三 言葉の変化を題材に調べたことや考えたことについて、内容や構成を工夫しながら書くことができるかをみた。（四）では、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫することができるかをみた。

【出典】 今井むつみ・秋田喜美『言語の本質 ことばはどう生まれ、進化したか』

2023年5月25日発行、中央公論新社